

参考資料 1

参考資料 1 . 1 : 水質項目一覧表及び過去の測定結果のまとめ

参考資料 1 . 2 : 水質項目の水質管理上の評価および過去の濃
度とその範囲の検討

中分類	1	2	3
項目名	一般細菌	大腸菌	カドミウム
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	100個/ml	不検出	0.01
公定法	標準寒天培地法	特定酵素其質培地	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS
本市測定法	標準寒天培地法	特定酵素其質培地	ICP-MS
検査の省略・優先度	不可	不可	原水の状況
測定結果原水(平均値)	6800	37000	<0.001
測定結果原水(最大値)	170000	790000	<0.001
測定結果浄水(平均値)	0	「-」	<0.001
測定結果浄水(最大値)	1	「-」	<0.001
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	1個/ml		0.00002(ICP-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	1/月	1/月	-
本川	1/月	1/月	1/月
支川	1/月	1/月	1/月
事業所	4/年	4/年	4/年
原水	1/月	1/月	4/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	1/日	1/日	4/年
市内給水栓	1/月	1/月	-
測定頻度の変更	縮小	縮小	変更なし
備考(1)	原水を「1/週」から「1/月」、工業用水を「1/月」から「なし」に変更	原水を「1/週」から「1/月」に変更。H15までは、原水の大腸菌群および大腸菌を実施(MPN)。	
備考(2)		水源・原水については大腸菌群を継続検査する。	
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0/ml		0.001
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量(t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	4	5	6
項目名	水銀及びその化合物	セレン及びその化合物	鉛及びその化合物
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.0005	0.01	0.01
公定法	CV-AAS	Hy-AAS/FAAS/Hy-ICP/ICP-MS	FAAS/ICP/ICP-MS
本市測定法	CV-AAS	ICP-MS	ICP-MS
検査の省略・優先度	原水の状況	原水の状況	資機材(鉛管)
測定結果原水(平均値)	<0.00005	<0.001	0.002
測定結果原水(最大値)	<0.00005	<0.001	0.007
測定結果浄水(平均値)	<0.00005	<0.001	0.002
測定結果浄水(最大値)	<0.00005	<0.001	0.034
定量下限値(mg/L) (農薬類はµg/L)	0.00005(Hy-AAS)	0.001(ICP-MS)	0.00005(ICP-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はµg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	1/月	1/月	1/月
支川	1/月	1/月	1/月
事業所	4/年	4/年	4/年
原水	4/年	4/年	4/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	4/年	4/年	4/年
市内給水栓	-	-	4/年
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	縮小
備考(1)			市内を「1/月」から「4/年」に変更
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 µg/L)	0.00005	0.001	0.001
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 µg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	7	8	9
項目名	ヒ素及びその化合物	六価クロム化合物	シアン化物イオン及び塩化シアン
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.01	0.05	0.01
公定法	Hy-AAS/FAAS/Hy-ICP/ICP-MS	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	IC-PC
本市測定法	ICP-MS	ICP-MS	IC-PC
検査の省略・優先度	原水の状況	原水の状況・資機材・薬品	不可
測定結果原水(平均値)	<0.001	<0.005	<0.001
測定結果原水(最大値)	0.001	<0.005	<0.001
測定結果浄水(平均値)	<0.001	<0.005	<0.001
測定結果浄水(最大値)	<0.001	<0.005	<0.001
定量下限値(mg/L) (農薬類はµg/L)	0.0003(ICP-MS)	0.0001(ICP-MS)	不明
最小記入値(mg/L) (農薬類はµg/L)			
特記事項			測定結果は吸光度法
琵琶湖	-	-	-
本川	1/月	1/月	1/月
支川	1/月	1/月	1/月
事業所	4/年	4/年	4/年
原水	4/年	4/年	6/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	4/年	4/年	6/年
市内給水栓	-	6/年	6/年
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	増大
備考(1)		総クロムで測定	原水、浄水「4/年」から「6/年」、市内「なし」から「6/年」に変更
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 µg/L)	0.001	0.005	0.001
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 µg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	10	11	12
項目名	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	フッ素及びその化合物	ホウ素及びその化合物
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	10	0.8	1
公定法	IC	IC	ICP/ICP/MS
本市測定法	IC	IC	ICP/ICP/MS
検査の省略・優先度	不可	原水の状況	省略可(海水淡水化のみ不可)
測定結果原水(平均値)	1.2	0.11	0.1
測定結果原水(最大値)	2.2	0.18	<0.1
測定結果浄水(平均値)	1.3	<0.08	<0.1
測定結果浄水(最大値)	2.0	0.14	<0.1
定量下限値(mg/L) (農薬類はµg/L)	0.01(IC)	0.02(IC)	0.003(ICP-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はµg/L)			
特記事項			
琵琶湖	1/月	-	-
本川	1/月	1/月	1/月
支川	1/月	1/月	1/月
事業所	4/年	4/年	4/年
原水	1/月	1/月	4/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	1/月	1/月	4/年
市内給水栓	4/年	4/年	-
測定頻度の変更	縮小	変更なし	変更なし
備考(1)	浄水工程「1/月」から「なし」、市内「1/月」から「4/年」に変更		
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 µg/L)	0.1	0.08	0.1
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 µg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	13	14	15
項目名	四塩化炭素	1,4-ジオキサン	1,1-ジクロロエチレン
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.002	0.05	0.02
公定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SA-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SA-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
検査の省略・優先度	省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)
測定結果原水(平均値)	<0.0002	0.001(柴島)	<0.002
測定結果原水(最大値)	<0.0002		<0.002
測定結果浄水(平均値)	<0.0002	0.0006(柴島)	<0.002
測定結果浄水(最大値)	<0.0002		<0.002
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.000002(HS-GC-MS)	0.0001(GC-MS)	0.000001(HS-GC-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	2/年	2/年	2/年
原水	6/年	4/年	6/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	6/年	4/年	6/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	縮小	新規測定	縮小
備考(1)	原水、浄水は「1/月」から「6/年」に変更		原水、浄水は「1/月」から「6/年」に変更
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.0002		0.002
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)		0.0001	
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	16	17	18
項目名	シス-1,2-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	テトラクロロエチレン
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.04	0.02	0.01
公定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
検査の省略・優先度	省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)
測定結果原水(平均値)	<0.004	<0.002	<0.001
測定結果原水(最大値)	<0.004	<0.002	<0.001
測定結果浄水(平均値)	<0.004	<0.002	<0.001
測定結果浄水(最大値)	<0.004	<0.002	<0.001
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.000002(HS-GC-MS)	0.000008(HS-GC-MS)	0.000001(HS-GC-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	2/年	2/年	2/年
原水	6/年	6/年	6/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	6/年	6/年	6/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	縮小	縮小	縮小
備考(1)	原水、浄水は「1/月」から「6/年」に変更	原水、浄水は「1/月」から「6/年」に変更	原水、浄水は「1/月」から「6/年」に変更
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.004	0.002	0.001
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	19	20	21
項目名	トリクロロエチレン	ベンゼン	クロロ酢酸
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.03	0.01	0.02
公定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS
検査の省略・優先度	省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)	不可
測定結果原水(平均値)	<0.003	<0.001	
測定結果原水(最大値)	<0.003	<0.001	
測定結果浄水(平均値)	<0.003	<0.001	
測定結果浄水(最大値)	<0.003	<0.001	0.0007(生成能として)
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.000001(HS-GC-MS)	0.0002(HS-GC-MS)	0.0005(GC-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	-
支川	6/年	6/年	-
事業所	2/年	2/年	-
原水	6/年	6/年	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	6/年	6/年	6/年
市内給水栓	-	-	6/年
測定頻度の変更	縮小	縮小	
備考(1)	原水、浄水は「1/月」から「6/年」に変更	原水、浄水は「1/月」から「6/年」に変更	
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.003	0.001	
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			0.0001
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	22	23	24
項目名	クロロホルム	ジクロロ酢酸	ジブロモクロロメタン
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.06	0.04	0.1
公定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
検査の省略・優先度	不可	不可	不可
測定結果原水(平均値)	<0.001		<0.001
測定結果原水(最大値)	<0.001		<0.001
測定結果浄水(平均値)	0.003	<0.002	0.002
測定結果浄水(最大値)	0.027	0.012	0.012
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.000002(HS-GC-MS)	0.0005(GC-MS)	0.00001(HS-GC-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項	浄水最大値は中間塩素処理時	浄水最大値は中間塩素処理時	浄水最大値は中間塩素処理時
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	-	-
支川	6/年	-	-
事業所	2/年	-	-
原水	-	-	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	6/年	6/年	6/年
市内給水栓	6/年	6/年	6/年
測定頻度の変更	縮小	変更なし	縮小
備考(1)	原水「1/月」から「なし」、浄水「1/月」から「6/年」に変更		原水「1/月」から「なし」、浄水「1/月」から「6/年」に変更
備考(2)		消毒副生成物、基準項目に変更	
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.001	0.002	0.001
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)		0.0001	
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	25	26	27
項目名	臭素酸	総トリハロメタン	トリクロロ酢酸
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.01	0.1	0.2
公定法	IC-PC	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS
本市測定法	IC-PC	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS
検査の省略・優先度	不可	不可	不可
測定結果原水(平均値)		<0.001	
測定結果原水(最大値)	0.00057(柴島下系)	<0.001	
測定結果浄水(平均値)		0.008	<0.03
測定結果浄水(最大値)	0.0082(柴島下系)	0.043	<0.03
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.0001(IC-PC)		0.0005(GC-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項		浄水最大値は中間塩素処理時	
琵琶湖	-	-	-
本川	8/年	-	-
支川	9/年	-	-
事業所	4/年	-	-
原水	1/月	-	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	1/月	6/年	6/年
市内給水栓	1/月	6/年	6/年
測定頻度の変更	新規測定	縮小	変更なし
備考(1)		原水「1/月」から「なし」、浄水「1/月」から「6/年」に変更	
備考(2)			消毒副生成物、基準項目に変更
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)		0.001	0.03
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.0001		0.0001
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	28	29	30
項目名	プロモジクロロメタン	プロモホルム	ホルムアルデヒド
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.03	0.09	0.08
公定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	MOD-SE-GC-MS
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	MOD-SE-GC-MS
検査の省略・優先度	不可	不可	不可
測定結果原水(平均値)	<0.001	<0.001	
測定結果原水(最大値)	<0.001	<0.001	
測定結果浄水(平均値)	0.004	<0.001	<0.008
測定結果浄水(最大値)	0.016	0.003	<0.008
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.00006(HS-GC-MS)	0.000016(HS-GC-MS)	0.0001(GC-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項	浄水最大値は中間塩素処理時		
琵琶湖	-	-	-
本川	-	-	-
支川	-	-	-
事業所	-	-	-
原水	-	-	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	6/年	6/年	6/年
市内給水栓	6/年	6/年	6/年
測定頻度の変更	縮小	縮小	変更なし
備考(1)	原水「1/月」から「なし」、浄水「1/月」から「6/年」に変更	原水「1/月」から「なし」、浄水「1/月」から「6/年」に変更	
備考(2)			消毒副生成物、基準項目に変更
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.001	0.001	0.008
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	31	32	33
項目名	亜鉛及びその化合物	アルミニウム及びその化合物	鉄及びその化合物
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	1	0.2	0.3
公定法	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	FAAS/ICP/ICP-MS	FAAS/AAS/ICP
本市測定法	ICP-MS	FAAS	FAAS
検査の省略・優先度	資機材・薬品	資機材・薬品	資機材・薬品
測定結果原水(平均値)	<0.1	0.07	0.26
測定結果原水(最大値)	0.1	0.35	2.52
測定結果浄水(平均値)	<0.1	<0.02	<0.03
測定結果浄水(最大値)	<0.1	0.03	0.05
定量下限値(mg/L) (農薬類はµg/L)	0.002(ICP-MS)	0.002(ICP-MS)	0.015(FAAS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はµg/L)			
特記事項		測定結果は吸光光度法	
琵琶湖	-	-	-
本川	1/月	-	1/月
支川	1/月	-	1/月
事業所	4/年	-	4/年
原水	4/年	-	4/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	4/年	1/月	4/年
市内給水栓	6/年	6/年	6/年
測定頻度の変更	変更なし	縮小	縮小
備考(1)		原水「1/月」から「なし」、浄水「1/週」から「1/月」に変更	浄水工程「1/月」から「なし」、原水・浄水を「1/月」から「4/年」、市内を「1/月」から「6/年」に変更
備考(2)		維持管理上の調査項目としては測定を継続	
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 µg/L)	0.1	0.02	0.03
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 µg/L)			
農薬近畿出荷量(t)(2002年度)			
農薬種類			

中分類	34	35	36
項目名	銅及びその化合物	ナトリウム及びその化合物	マンガン及びその化合物
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	1	200	0.05
公定法	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	FAAS/AAS/ICP/IC	FAAS/ICP/ICP-MS
本市測定法	ICP-MS	FAAS	ICP-MS
検査の省略・優先度	資機材・薬品	原水の状況	原水の状況
測定結果原水(平均値)	<0.1	14.3	0.047
測定結果原水(最大値)	<0.1	20.7	0.761
測定結果浄水(平均値)	<0.1	19.2	0.001
測定結果浄水(最大値)	<0.1	30.9	0.021
定量下限値(mg/L) (農薬類はµg/L)	0.0004(ICP-MS)	検討中(FAAS)	0.00006(ICP-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はµg/L)			
特記事項		測定結果はAAS法	
琵琶湖	-	-	-
本川	1/月	-	1/月
支川	1/月	-	1/月
事業所	4/年	-	4/年
原水	4/年	4/年	1/週
沈殿水	-	-	1/週
ろ過水	-	-	1/週
GAC吸着水	-	-	1/週
浄水	4/年	4/年	1/週
市内給水栓	6/年	6/年	6/年
測定頻度の変更	変更なし	縮小	増大
備考(1)		浄水工程「1/月」から「なし」、原水・浄水を「1/月」から「4/年」、市内を「1/月」から「6/年」に変更	原水「1/日」から「1/週」、浄水工程、浄水「1/週」から「1/週」に変更
備考(2)			必要のある場合は随時追加
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 µg/L)	0.1	0.1	0.001
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 µg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	37	38	39
項目名	塩化物イオン	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	蒸発残留物
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	200	300	500
公定法	IC/Tit	Tit/ICP/IC/AAS	Weight
本市測定法	IC	Tit	Weight
検査の省略・優先度	不可	原水の状況	原水の状況
測定結果原水(平均値)	14.6	43	112
測定結果原水(最大値)	27.7	55	149
測定結果浄水(平均値)	15.3	44	104
測定結果浄水(最大値)	24.1	53	150
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01(IC)	0.1(Tit)	
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	1/月	-	-
本川	1/月	-	-
支川	1/月	-	-
事業所	4/年	-	-
原水	1/月	-	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	1/月	4/年	4/年
市内給水栓	1/月	-	-
測定頻度の変更	縮小	縮小	縮小
備考(1)	浄水工程「1/月」から「なし」に変更	浄水工程「1/月」から「なし」、原水・浄水・市内を「1/月」から「4/年」	原水「1/月」から「なし」、浄水・市内「1/月」から「4/年」、浄水工程「6/年」から「なし」に変更
備考(2)		Ca,Mgは計算で算出。	
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.002	1	1
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	40	41	42
項目名	陰イオン界面活性剤	ジェオスミン	2-メチルイソボルネオール
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.2	0.00001	0.00001
公定法	HPLC	SA-GC-MS/PT-GC-MS/HS-GC-MS	SA-GC-MS/PT-GC-MS/HS-GC-MS
本市測定法	HPLC	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	原水の状況	原水の状況	原水の状況
測定結果原水(平均値)	0.03		
測定結果原水(最大値)	0.14		
測定結果浄水(平均値)	<0.02		
測定結果浄水(最大値)	0.06	0.000021	0.000016
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	検討中(LC)	0.000001(GC-MS)	0.000001(GC-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項	測定結果は吸光度法	浄水最大値は中間塩素処理時	浄水最大値は中間塩素処理時
琵琶湖	-	6/年	6/年
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	-	-
事業所	2/年	-	-
原水	4/年	-	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	4/年	-	-
市内給水栓	-	6/年	6/年
測定頻度の変更	縮小	増大	変更なし
備考(1)	原水・浄水「1/月」から「4/年」、浄水工程「4/年」から「なし」に変更	市内「なし」から「6/年」。本川は瀬田川のみ。実施は5-10月。	市内「なし」から「6/年」。本川は瀬田川のみ。実施は5-10月。
備考(2)	支川は臨時調査実施	原水が50ng/L程度になれば、処理工程も測定。	原水が50ng/L程度になれば、処理工程も測定。
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)	0.02	0.000002	0.000002
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量(t)(2002年度)			
農薬種類			

中分類	43	44	45
項目名	非イオン界面活性剤	フェノール類	有機物(全有機炭素(TOC)の量)
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.02	0.005	5
公定法	SE-AS	SE-GC-MS/HPLC	TOC
本市測定法	SE-AS	SE-GC-MS/HPLC	TOC
検査の省略・優先度	原水の状況	原水の状況	不可
測定結果原水(平均値)		<0.005	1.9
測定結果原水(最大値)	0.01(柴島)	<0.005	4.3
測定結果浄水(平均値)		<0.005	1.1
測定結果浄水(最大値)	<0.01(柴島)	<0.005	2.0
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	検討中(SE-AS)	0.0001(GC-MS)	0.2
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項	測定結果はSE-鉄法	測定結果は吸光光度法	
琵琶湖	-	-	1/月
本川	6/年	6/年	1/月
支川	6/年	-	1/月
事業所	2/年	2/年	4/年
原水	4/年	4/年	1/日(休日除く)
沈殿水	-	-	1/週
ろ過水	-	-	1/週
GAC吸着水	-	-	1/週
浄水	4/年	4/年	1/日(休日除く)
市内給水栓	-	-	1/月
測定頻度の変更	新規測定	縮小	変更なし
備考(1)	支川は臨時調査実施	原水・浄水「1/月」から「4/年」、浄水工程「4/年」から「なし」に変更	水源およびろ過水以降は、全有機炭素として測定。
備考(2)		支川は臨時調査実施	琵琶湖・本川は溶存有機炭素も測定。
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)		0.005	0.1
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)	0.01		
農薬近畿出荷量(t)(2002年度)			
農薬種類			

中分類	46	47	48
項目名	pH値	味	臭気
分類	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	5.8 ~ 8.6	異常でない	異常でない
公定法	EL	官能法	官能法
本市測定法	EL	官能法	官能法
検査の省略・優先度	不可	不可	不可
測定結果原水(平均値)	7.4		
測定結果原水(最大値)	8.1		
測定結果浄水(平均値)	7.5	異常なし	異常なし
測定結果浄水(最大値)	7.9		
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	1/月	-	1/月
本川	1/月	-	1/月
支川	1/月	-	1/月
事業所	4/年	-	4/年
原水	1/日	-	1/日
沈殿水	1/日(休日除く)	-	1/日(休日除く)
ろ過水	1/日(休日除く)	-	1/日(休日除く)
GAC吸着水	1/日(休日除く)	-	1/日(休日除く)
浄水	1/日	1/日	1/日
市内給水栓	1/月	1/月	1/月
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)			
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	49	50	1
項目名	色度	濁度	アンチモン
分類	水質基準	水質基準	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	5度	2度	0.015
公定法	Colほか	比濁法ほか	Hy-AAS/Hy-ICP/ICP-MS
本市測定法	Colほか	比濁法ほか	ICP-MS
検査の省略・優先度	不可	不可	原水の状況
測定結果原水(平均値)	15	5.9	0.0003
測定結果原水(最大値)	800	400	0.0008
測定結果浄水(平均値)	1	<0.1	0.00027
測定結果浄水(最大値)	3	0.1	0.0005
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)			0.00001(ICP-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	1/月	1/月	-
本川	1/月	1/月	1/月
支川	1/月	1/月	1/月
事業所	4/年	4/年	4/年
原水	1/日	1/日	4/年
沈殿水	1/日(休日除く)	1/日(休日除く)	-
ろ過水	1/日(休日除く)	1/日(休日除く)	-
GAC吸着水	1/日(休日除く)	1/日(休日除く)	-
浄水	1/日	1/日	4/年
市内給水栓	1/月	1/月	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)		ろ過水以降は、光電光度法	
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			0.0002
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	2	3	4
項目名	ウラン	ニッケル	亜硝酸性窒素
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.002P	0.01P	0.05P
公定法	SA-ICP/ICP-MS	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	IC
本市測定法	ICP-MS	ICP-MS	IC
検査の省略・優先度	原水の状況	資機材	原水の状況
測定結果原水(平均値)	<0.0001	0.002	0.02
測定結果原水(最大値)	<0.0001	0.004	0.09
測定結果浄水(平均値)	<0.0001	<0.001	<0.02
測定結果浄水(最大値)	<0.0001	0.003	<0.02
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.0000006(ICP-MS)	0.00003(ICP-MS)	0.02(IC)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	1/月
本川	1/月	1/月	1/月
支川	1/月	1/月	1/月
事業所	4/年	4/年	4/年
原水	4/年	4/年	1/月
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	4/年	4/年	1/月
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	縮小
備考(1)			浄水工程・市内「1/月」から「なし」に変更
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.0002	0.001	0.02
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	5	6	7
項目名	1,2-ジクロロエタン	トランス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,2-トリクロロエタン
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.004	0.04	0.006
公定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
検査の省略・優先度	省略可	省略可	省略可
測定結果原水(平均値)	<0.0001	<0.0004	<0.0001
測定結果原水(最大値)	<0.0001	<0.0004	<0.0001
測定結果浄水(平均値)	<0.0001	<0.0004	<0.0001
測定結果浄水(最大値)	<0.0001	<0.0004	<0.0001
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.000002(HS-GC-MS)	0.000001(HS-GC-MS)	0.000004(HS-GC-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	2/年	2/年	2/年
原水	6/年	6/年	6/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	6/年	6/年	6/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	縮小	縮小	縮小
備考(1)	原水、浄水、市内「1/月」から「6/年」に変更	原水、浄水、市内「1/月」から「6/年」に変更	原水、浄水、市内「1/月」から「6/年」に変更
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.0004	0.004	0.0006
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	8	9	10
項目名	トルエン	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	亜塩素酸
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.2	0.1	0.6
公定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS	IC
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS	IC
検査の省略・優先度	省略可	原水の状況	資機・薬品
測定結果原水(平均値)	<0.006	<0.006	
測定結果原水(最大値)	<0.006	<0.006	
測定結果浄水(平均値)	<0.006	<0.006	
測定結果浄水(最大値)	<0.006	<0.006	
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.0003(HS-GC-MS)	0.008(GC-MS)	
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	-
支川	6/年	6/年	-
事業所	2/年	2/年	-
原水	6/年	-	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	6/年	1/年	-
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	縮小	縮小	変更なし
備考(1)	原水、浄水、市内「1/月」から「6/年」に変更	原水「4/年」から「なし」浄水「4/年」から「1/年」に変更	二酸化塩素使用施設のみ。
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.06	0.006	
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	11	12	13
項目名	塩素酸	二酸化塩素	ジクロロアセトニトリル
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.6	0.6	0.04P
公定法	IC	IC	SE-GC-MS
本市測定法	IC	IC	SE-GC-MS
検査の省略・優先度	資機・薬品	資機・薬品	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)			
測定結果浄水(平均値)			<0.008
測定結果浄水(最大値)	0.08(庭窪)		<0.008
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01(IC)		検討中(GC-MS)
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	-	-	-
支川	-	-	-
事業所	-	-	-
原水	-	-	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	1/月	-	6/年
市内給水栓	1/月	-	-
測定頻度の変更	新規測定	変更なし	縮小
備考(1)	二酸化塩素使用施設のみ。	二酸化塩素使用施設のみ。	市内「6/年」から「なし」に変更
備考(2)	次亜塩素酸分解により生成		
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01		0.008
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	14	15	16
項目名	抱水クロラール	農薬類	残留塩素
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.03P	1	1
公定法	SE-GC-MS		DPD/AS/Elec etc
本市測定法	SE-GC-MS		AS
検査の省略・優先度	高	高	消毒
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)			
測定結果浄水(平均値)	<0.003		0.6
測定結果浄水(最大値)	0.013		1.1
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	検討中(GC-MS)		
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項		詳細別紙	
琵琶湖	-	-	-
本川	-	6/年	-
支川	-	6/年	-
事業所	-	-	-
原水	-	5/年	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	6/年	5/年	1/日
市内給水栓	-	-	1/月
測定頻度の変更	縮小	変更なし	変更なし
備考(1)	市内「6/年」から「なし」に変更	項目数追加	
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.003		0.1
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	17	18	19
項目名	硬度 (Ca, Mg)	マンガン	遊離炭酸
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	10 ~ 100	0.01	20
公定法	AAS/Tit/ICP/IC	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	Tit
本市測定法	Tit	ICP-MS	Tit
検査の省略・優先度	消毒	原水の状況	原水の状況
測定結果原水(平均値)	43	0.047	3.7
測定結果原水(最大値)	55	0.761	7.9
測定結果浄水(平均値)	44	0.001	2.3
測定結果浄水(最大値)	53	0.021	5.8
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	-	1/月	-
支川	-	1/月	-
事業所	-	4/年	-
原水	-	1/週	-
沈殿水	-	1/週	-
ろ過水	-	1/週	-
GAC吸着水	-	1/週	-
浄水	4/年	1/週	4/年
市内給水栓	1/月	6/年	-
測定頻度の変更	縮小	増大	縮小
備考(1)	浄水工程「6/年」から「なし」、原水・市内を「1/月」から「なし」浄水を「1/月」から「4/年」	原水「1/日」から「1/週」、浄水工程、浄水「1/週」から「1/週」に変更	原水「1/月」から「なし」浄水工程「6/年」から「なし」浄水「1/月」から「4/年」に変更
備考(2)	Ca,Mgは計算で算出。	必要のある場合は随時追加	
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	1	0.001	0.1
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	20	21	22
項目名	1,1,1-トリクロロエタン	メチル-t-ブチルエーテル	有機物質 (KMnO4)
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.3	0.02	3
公定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	Tit
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	Tit
検査の省略・優先度	原水の状況	省略可	高
測定結果原水(平均値)	<0.003		7.0
測定結果原水(最大値)	<0.003	0.06(庭窪)	94
測定結果浄水(平均値)	<0.003		1.4
測定結果浄水(最大値)	<0.003	<0.02	3.3
定量下限値(mg/L) (農薬類は μg/L)	0.00001(HS-GC-MS)	0.00002(HS-GC-MS)	
最小記入値(mg/L) (農薬類は μg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	1/月
本川	6/年	-	1/月
支川	6/年	-	1/月
事業所	2/年	-	4/年
原水	6/年	6/年	1/日
沈殿水	-	-	1/月
ろ過水	-	-	1/月
GAC吸着水	-	-	1/月
浄水	6/年	6/年	1/日
市内給水栓	-	-	
測定頻度の変更	縮小	新規測定	変更なし
備考(1)	原水、浄水、市内「1/月」から「6/年」に変更		TOCとの整合性の確認後、取扱いを再整理
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.03		0.2
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)		0.00001	
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	23	24	25
項目名	臭気濃度(TON)	蒸発残留物	濁度
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	3TON	30～200	1度
公定法	官能法	Weight	透過光測定法ほか
本市測定法	官能法	Weight	透過光測定法ほか
検査の省略・優先度	原水の状況	原水の状況	原水の状況
測定結果原水(平均値)		112	5.9
測定結果原水(最大値)		149	400
測定結果浄水(平均値)	2	104	<0.1
測定結果浄水(最大値)	12	150	0.1
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	1/月
本川	-	-	1/月
支川	-	-	1/月
事業所	-	-	4/年
原水	-	-	1/日
沈殿水	-	-	1/日
ろ過水	-	-	1/日
GAC吸着水	-	-	1/日
浄水	1/月	-	1/日
市内給水栓	-	4/年	1/月
測定頻度の変更	変更なし	縮小	変更なし
備考(1)		原水・市内「1/月」から「なし」浄水「1/月」から「4/年」浄水工程「6/年」から「なし」に変更	ろ過水以降は、光電光度法
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)		1	
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			
農薬種類			

中分類	26	27	15
項目名	pH	腐食性(ランゲリア指数)	チウラム
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	7.5	-1~0	0.02
公定法	EL	計算法	SA-LC-MS (Posi)
本市測定法	EL	計算法	SA-LC-MS (Posi)
検査の省略・優先度	原水の状態	原水の状態	高
測定結果原水(平均値)	7.4		<0.6
測定結果原水(最大値)	8.1		<0.5
測定結果浄水(平均値)	7.5	-1.3	<0.6
測定結果浄水(最大値)	7.9	-0.7	<0.5
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)			0.2
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	1/月	-	-
本川	1/月	-	6/年
支川	1/月	-	6/年
事業所	4/年	-	-
原水	1/日	-	5/年
沈殿水	1/日	-	-
ろ過水	1/日	-	-
GAC吸着水	1/日	-	-
浄水	1/日	4/年	5/年
市内給水栓	1/月	-	-
測定頻度の変更	変更なし	縮小	変更なし
備考(1)		浄水「1/月」から「4/年」、市内「1/月」から「なし」に変更	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)			測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			0.6
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			0.5
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)			4.683
農薬種類			殺菌剤

農薬類の測定結果は(μ g/L)

中分類	15	15	15
項目名	シマジン(CAT)	チオベンカルブ	1,3-ジクロロプロペン(D-D)
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.003	0.02	0.002
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<0.3	<2	<0.2
測定結果原水(最大値)	<0.01	0.10	<0.02
測定結果浄水(平均値)	<0.3	<2	<0.2
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.01	<0.02
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.03	0.02
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)	0.3	2	0.2
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.01	0.02
農薬近畿出荷量(t) (2002年度)	2.824	37.09	48.175
農薬種類	除草剤	除草剤	土壌薫蒸

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	イソキサチオン	ダイアジノン	フェニトロチオン(MEP)
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.008	0.005	0.003
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<0.8	<0.5	<0.3
測定結果原水(最大値)	<0.02	0.04	<0.01
測定結果浄水(平均値)	<0.8	<0.5	<0.3
測定結果浄水(最大値)	<0.02	<0.02	<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.02	0.01
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.8	0.5	0.3
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.02	0.02	0.01
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	9.854	25.225	56.269
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤

農薬類の測定結果は(μ g/L)

中分類	15	15	15
項目名	イソプロチオラン(IPT)	クロロタロニル(TPN)	プロピザミド
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.04	0.05	0.05
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<4	<5	<5
測定結果原水(最大値)	<0.01	<0.01	<0.01
測定結果浄水(平均値)	<4	<5	<5
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.01	<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.01	0.01
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	4	5	5
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.01	0.01
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	16.846	16.135	データなし
農薬種類	殺菌剤	殺菌剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ジクロロボス(DDVP)	フェノピカルブ(BPMC)	クロロニトロフェン(CNP)
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.008	0.03	0.0001
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<0.8	<3	<0.01
測定結果原水(最大値)	<0.01	0.06	<0.01
測定結果浄水(平均値)	<0.8	<3	<0.01
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.01	<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.03	0.01	0.05
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.8	3	0.01
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.01	0.01
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	21.167	13.268	失効農薬
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μ g/L)

中分類	15	15	15
項目名	CNP-アミノ体	イプロベンホス(IPB)	E P N
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	-	0.008	0.006
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-LC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)		<0.8	<0.6
測定結果原水(最大値)		<0.01	<0.05
測定結果浄水(平均値)		<0.8	<0.6
測定結果浄水(最大値)		<0.01	<0.05
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	(0.3)	0.01	0.05
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項	失効農薬CNPの代謝物		
琵琶湖	-	-	-
本川	-	6/年	6/年
支川	-	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	新規測定	変更なし	変更なし
備考(1)		測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)		測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)		0.8	0.6
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)		0.01	0.05
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	-	18.505	4.707
農薬種類	除草剤反応物	殺菌剤	殺虫剤

農薬類の測定結果は(μ g/L)

中分類	15	15	15
項目名	ベンタゾン	カルボフラン(カルボスルファン代謝物)	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D)
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.2	0.005	0.03
公定法	SA-LC-MS (Nega)/SA-MOD-GC-MS	SA-LC-MS (Nega)/POST-HPLC	SA-LC-MS (Nega)/SA-MOD-GC-MS
本市測定法	SA-LC-MS (Nega)	SA-LC-MS(Posi)	SA-LC-MS (Nega)
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<20	<0.5	<3
測定結果原水(最大値)	0.56	0.14	0.52
測定結果浄水(平均値)	<20	<0.5	<3
測定結果浄水(最大値)	<0.02	<0.02	<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.003	0.005	0.002
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項	SA-MOD-GC-MSも可	post-HPLCも可	SA-MOD-GC-MSも可
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入(原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入(原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入(原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)	20	0.5	3
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)	0.02	0.02	0.01
農薬近畿出荷量(t)(2002年度)	10.099	2.433	10.591
農薬種類	除草剤	殺虫剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	トリクロピル	アセフェート	イソフェンホス
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.006	0.08	0.001
公定法	SA-LC-MS (Nega)/SA-MOD-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
本市測定法	SA-LC-MS (Nega)	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<0.6	<8	<0.1
測定結果原水(最大値)	<0.01	<1	<0.02
測定結果浄水(平均値)	<0.6	<8	<0.1
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<1	<0.02
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.008	8	0.03
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項	SA-MOD-GC-MSも可		
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし		変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)	0.6	8	0.1
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)	0.01	1	0.02
農薬近畿出荷量(t) (2002年度)	1.126	54.885	データなし
農薬種類	除草剤	殺虫剤	殺虫剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	クロルピリホス	トリクロルホン(DEP)	ピリダフェンチオン
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.03	0.03	0.002
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<0.4	<3	<0.2
測定結果原水(最大値)	<0.01	<0.1	<0.1
測定結果浄水(平均値)	<0.4	<3	<0.2
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.1	<0.1
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.03	0.02	0.05
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.4	3	0.2
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.1	0.1
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	1.548	17.994	2.778
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	イプロジオン	エトリジアゾール(エクロメゾール)	オキシ銅
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.3	0.004	0.04
公定法	SA-GC-MS/SA-LC/MS(Posi)/SPE-HPLC	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<30	<0.4	<4
測定結果原水(最大値)	<0.1	<0.01	<0.1
測定結果浄水(平均値)	<30	<0.4	<4
測定結果浄水(最大値)	<0.1	<0.01	<0.1
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.02	0.01	0.08
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	30	0.4	4
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.1	0.01	0.1
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	1.947	0.048	3.061
農薬種類	殺菌剤	殺菌剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μ g/L)

中分類	15	15	15
項目名	キャプタン	クロロネブ	トリクロホスメチル
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.3	0.05	0.2
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<30	<5	<8
測定結果原水(最大値)	<0.2	<0.01	<0.01
測定結果浄水(平均値)	<30	<5	<8
測定結果浄水(最大値)	<0.2	<0.01	<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.3	0.02	0.01
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)	30	5	8
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)	0.2	0.01	0.01
農薬近畿出荷量(t) (2002年度)	6.612	1.17	16.595
農薬種類	殺菌剤	殺菌剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μ g/L)

中分類	15	15	15
項目名	フルトラニル	ペンシクロン	メタラキシル
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.2	0.04	0.05
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<20	<4	<5
測定結果原水(最大値)	<0.01	<0.01	<0.2
測定結果浄水(平均値)	<20	<4	<5
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.01	<0.2
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.08	0.05
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	20	4	5
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.01	0.2
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	4.991	10.128	1.728
農薬種類	殺菌剤	殺菌剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μ g/L)

中分類	15	15	15
項目名	メプロニル	アシュラム	ジチオピル
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.1	0.2	0.008
公定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)/SA-HPLC	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<10	<20	<0.8
測定結果原水(最大値)	<0.05	<0.05	<0.01
測定結果浄水(平均値)	<10	<20	<0.8
測定結果浄水(最大値)	<0.05	<0.05	<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.2	0.01
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	10	20	0.8
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.05	0.05	0.01
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	6.615	5.752	0.896
農薬種類	殺菌剤	除草剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μ g/L)

中分類	15	15	15
項目名	テルブカルブ(MBPMC)	ナプロパミド	ピリプチカルブ
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.02	0.03	0.02
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<2	<3	<2
測定結果原水(最大値)	<0.01	<0.02	<0.01
測定結果浄水(平均値)	<2	<3	<2
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.02	<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.01	0.02
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	2	3	2
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.02	0.01
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	失効農薬	データなし	6.562
農薬種類	除草剤	除草剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ブタミホス	ベンスリド(SAP)	ベンフルラリン(ベスロジン)
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.01	0.1	0.08
公定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi or Nega)	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<0.4	<10	<8
測定結果原水(最大値)	<0.01	<1	<0.01
測定結果浄水(平均値)	<0.4	<10	<8
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<1	<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.1	0.03	0.01
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.4	10	8
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01	1	0.01
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	3.634	2.516	3.346
農薬種類	除草剤	除草剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ペンディメタリン	メコプロップ(MCPP)	メチルダイムロン
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.1	0.005	0.03
公定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS (Nega)/SA-MOD-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS (Nega)	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<10	<0.5	<3
測定結果原水(最大値)	<0.01	<0.02	<0.02
測定結果浄水(平均値)	<10	<0.5	<3
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.02	<0.02
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	6	0.05
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項		SA-MOD-GC-MSも可	
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)	10	0.5	3
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.02	0.02
農薬近畿出荷量(t) (2002年度)	14.864	4.046	0
農薬種類	除草剤	除草剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	アラクロール	カルバリル(NAC)	エディフェンホス
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.01	0.05	0.006
公定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)/SA-HPLC/POST-HPLC	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)	<0.01	<0.02	
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.02	
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.02	0.02	0.04
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.02	
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	1.161	13.348	5.419
農薬種類	除草剤	殺虫剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ピロキロン	フサライド	メフェナセット
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.04	0.1	0.009
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			<1
測定結果原水(最大値)	1.993		2.018
測定結果浄水(平均値)			<1
測定結果浄水(最大値)	<0.01		<0.02
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.01	0.01
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			変更なし
備考(1)			測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入(原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入		測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)			1
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)	0.01		0.02
農薬近畿出荷量(t)(2002年度)	4.437	20.589	31.112
農薬種類	殺菌剤	殺菌剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	プレチラクロール	イソプロカルブ(MIPC)	チオファネートメチル
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.04	0.01	0.3
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)/SA-HPLC
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<1		
測定結果原水(最大値)	0.3		<0.6
測定結果浄水(平均値)	<1		
測定結果浄水(最大値)	<0.02		<0.6
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.03	0.02
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			分解物MBCとして測定
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし		
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入(原水・浄水とも過去5年間はND)	測定方法の検討継続。H16年度に実態調査？。	
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入		測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)	1		
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)	0.02		0.6
農薬近畿出荷量(t)(2002年度)	11.956	3.303	19.907
農薬種類	除草剤	殺虫剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	テニルクロール	メチダチオン(DMTP)	カルプロパミド
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.2	0.004	0.04
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi or Nega)
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)			
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)			
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.02	0.01	0.03
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			測定方法の検討継続。H16年度に実態調査？。
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	1.833	11.77	3.24
農薬種類	除草剤	殺虫剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	プロモブチド	モリネート	プロシミド
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.04	0.005	0.09
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<1	<1	
測定結果原水(最大値)	0.31	0.32	
測定結果浄水(平均値)	<1	<1	
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.01	
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.07	0.01	0.06
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	1	1	
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.01	
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	2.622	15.216	1.135
農薬種類	除草剤	除草剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	アニロホス	アトラジン	グラボン
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.003	0.01	0.08
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Nega)
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS(+イオンペア剤)
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)		<1	
測定結果原水(最大値)		<0.01	
測定結果浄水(平均値)		<1	
測定結果浄水(最大値)		<0.01	
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.05	0.03	0.6
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更		変更なし	
備考(1)		測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)	
備考(2)		測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)		1	
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)		0.01	
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	新規農薬でデータなし	0.255	17.097
農薬種類	除草剤	除草剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ジクロベニル(DBN)	ジメトエート	ジクワット
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.01	0.05	0.005
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	吸引 SEP-HPLC
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	-
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)	<0.04	<0.006	
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)	<0.04	<0.006	
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.03	1
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			要 測定方法の選択・検討
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	-
支川	6/年	6/年	-
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	-
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入		
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.04	0.006	
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	1.058	2.206	15.544
農薬種類	除草剤	殺虫剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ジウロン	エンドスルファン(ベンゾエピ ン)	エトフェンプロックス
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.02	0.01	0.08
公定法	SA-LC-MS(Posi or Nega)	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)		<0.05	
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)		<0.05	
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.08	0.05	0.01
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)		0.05	
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	19.168	0.761	8.513
農薬種類	除草剤	殺虫剤	殺虫剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	フェンチオン(MPP)	グリホサート	馬拉ソン(マラチオン)
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.001	2	0.05
公定法	SA-GC-MS	post-HPLC/MOD-HPLC	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	post-HPLC	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<1		<5
測定結果原水(最大値)	<0.01		<0.01
測定結果浄水(平均値)	<1		<5
測定結果浄水(最大値)	<0.01		<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.02	0.03
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項		LC-MSとする可能性あり	
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし		変更なし
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)		測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入		測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	1		5
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01		0.01
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	14.01	4種の塩類合計62.767t	5.229
農薬種類	殺虫剤	除草剤	殺虫剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	メソミル	ベノミル	ベンフラカルブ
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.03	0.02	0.04
公定法	SA-LC-MS(Posi)/POST-HPLC	SA-LC-MS(Posi)	SA-LC-MS(Posi)
本市測定法	SA-LC-MS(Posi)	SA-LC-MS(Posi)	SA-LC-MS(Posi)
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)	<0.02	ND	
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)	<0.02	ND	
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.2	0.02	0.005
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			分解物(カルボフラン)として測定
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬μg/L)			
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬μg/L)	0.02	?	
農薬近畿出荷量(t)(2002年度)	9.513	8.335	10.36
農薬種類	殺虫剤	殺菌剤	殺虫剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	シメトリン	ジメピペレート	フェニトエート(PAP)
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.03	0.003	0.004
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)	<1		
測定結果原水(最大値)	0.258	<0.01	
測定結果浄水(平均値)	<1		
測定結果浄水(最大値)	<0.01	<0.01	
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.02	0.02	0.05
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更	変更なし		
備考(1)	測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)		
備考(2)	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	
水質基準改訂前の定期検査最小記入値(mg/L,農薬 μg/L)	1		
実態調査時の定量下限値の最小値(mg/L,農薬 μg/L)	0.01	0.01	
農薬近畿出荷量(t) (2002年度)	7.614	7.98	4.203
農薬種類	除草剤	除草剤	殺虫剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ブプロフェジン	エチルチオメトン	プロベナゾール
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.02	0.004	0.05
公定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)	<0.01		
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)	<0.01		
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.05	0.2
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	0.01		
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	5.457	19.133	43.64
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	エスプロカルブ	ダイムロン	ピフェノックス
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.01	0.8	0.2
公定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi or Nega)	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			<1
測定結果原水(最大値)			0.05
測定結果浄水(平均値)			<1
測定結果浄水(最大値)			<0.03
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.06	0.05	0.08
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			変更なし
備考(1)			測定結果の平均値には定期検査時の結果を記入 (原水・浄水とも過去5年間はND)
備考(2)			測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			1
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			0.03
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	12.508	32.486	6.072
農薬種類	除草剤	除草剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ベンスルフロンメチル	トリシクラゾール	ピペロホス
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.4	0.08	0.0009
公定法	SA-LC-MS(Posi or Nega)	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
本市測定法	SA-LC-MS(Posi)	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)			
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)			
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.008	0.003	0.08
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	3.408	2.133	0.135
農薬種類	除草剤	殺菌剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ジメタメトリン	アゾキシストロピン	イミノクタジン酢酸塩
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.02	0.5	0.006
公定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)	POST-HPLC
本市測定法	SA-GC-MS	SA-LC-MS(Posi)	(POST-HPLC)
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)			
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)			
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.01	0.02	1
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			測定方法の継続検討
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	-
支川	6/年	6/年	-
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	-
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	-
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			測定方法の検討継続。H16年度に実態調査？。
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	0.443	2.549	1.449
農薬種類	除草剤	殺菌剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	ホセチル	ポリカーバメート	ハロスルフロンメチル
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	2	0.03	0.3
公定法	LC-MS(Nega)	LC-MS(Nega)	SA-LC-MS(Posi or Nega)
本市測定法	LC-MS(Nega)	—	SA-LC-MS(Posi)
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)			
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)			
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	1		0.05
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項		測定方法の検討	
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	-	6/年
支川	6/年	-	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	-	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	-	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)		測定方法の検討継続。H16年度に実態調査？。	
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	3.022	2	0.118
農薬種類	殺菌剤	殺菌剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	フラザスルフロン	チオジカルブ	プロピコナゾール
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.03	0.08	0.05
公定法	SA-LC-MS(Posi or Nega)	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
本市測定法	SA-LC-MS(Posi)	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)			
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)			
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.004	0.03	0.12
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			
備考(2)			
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)			
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	0.053	2.916	0.253
農薬種類	除草剤	殺虫剤	殺菌剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15	15	15
項目名	シデュロン	ピリプロキシフェン	トリフルラリン
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.3	0.2	0.06
公定法	SA-LC-MS(Posi or Nega)/SA-HPLC	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法	SA-LC-MS(Posi)	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高	高	高
測定結果原水(平均値)			
測定結果原水(最大値)		<0.02	<0.01
測定結果浄水(平均値)			
測定結果浄水(最大値)		<0.02	<0.01
定量下限値(mg/L) (農薬類はμg/L)	0.02	0.01	0.01
最小記入値(mg/L) (農薬類はμg/L)			
特記事項			
琵琶湖	-	-	-
本川	6/年	6/年	6/年
支川	6/年	6/年	6/年
事業所	-	-	-
原水	5/年	5/年	5/年
沈殿水	-	-	-
ろ過水	-	-	-
GAC吸着水	-	-	-
浄水	5/年	5/年	5/年
市内給水栓	-	-	-
測定頻度の変更			
備考(1)			
備考(2)		測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入	測定結果の最大値には実態調査での最大値を記入
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)			
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)		0.02	0.01
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	0.459	0.01	3.462
農薬種類	除草剤	殺虫剤	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

中分類	15
項目名	カフェンストール
分類	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.008
公定法	SA-GC-MS
本市測定法	SA-GC-MS
検査の省略・優先度	高
測定結果原水(平均値)	
測定結果原水(最大値)	
測定結果浄水(平均値)	
測定結果浄水(最大値)	
定量下限値(mg/L) (農薬類は μg/L)	0.01
最小記入値(mg/L) (農薬類は μg/L)	
特記事項	
琵琶湖	-
本川	6/年
支川	6/年
事業所	-
原水	5/年
沈殿水	-
ろ過水	-
GAC吸着水	-
浄水	5/年
市内給水栓	-
測定頻度の変更	
備考(1)	
備考(2)	
水質基準改訂前の 定期検査最小記入値 (mg/L,農薬 μg/L)	
実態調査時の定量下限 値の最小値 (mg/L,農薬 μg/L)	
農薬近畿出荷量 (t) (2002年度)	8.017
農薬種類	除草剤

農薬類の測定結果は(μg/L)

大分類		1	1	1
中分類		1	2	3
項目名		一般細菌	大腸菌	カドミウム及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		100個/ml	不検出	0.01
発生源	水源 ¹⁾	「-」 生活排水・畜産排水・下水・ 土砂採取・降雨底泥巻き上げ	「-」 生活排水・畜産排水・下水・ 土砂採取・降雨底泥巻き上げ	「PRTR」 工場排水
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	糞便汚染等の指標	糞便汚染の指標	急性、慢性、発がん(G1)
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・実態把握 存在すると想定	定期測定・実態把握 存在すると想定	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理・砂ろ過処 理・塩素処理・オゾン処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処 理・塩素処理・オゾン処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処 理・取水停止
	配給水	・残留塩素濃度管理	・残留塩素濃度管理	
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	342/342	342/342	0/36
	浄水	0/4382	0/4383	0/48
	給水栓水	0/756	0/756	
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		4	5	6
項目名		水銀及びその化合物	セレン及びその化合物	鉛及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.0005	0.01	0.01
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(塗料・ハイオクガソリン)
	浄水場			
	配給水			鉛管
影響	健康影響 ²⁾	急性、慢性、発がんなし(G3、ただしメチル水銀はG2B)	慢性、発がんなし(G3)	慢性、発がん(金属:G2B、無機化合物:G2A、有機化合物G3)
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 トレンド分析
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止
	配給水			・鉛給水管対策
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/36	0/36	20/36
	浄水	0/48	0/48	0/48
	給水栓水			218/588
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				実施
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	鉛給水管対策と連携

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		7	8	9
項目名		ヒ素及びその化合物	六価クロム化合物	シアン化物イオン及び塩化シアン
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.01	0.05	0.01
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・自然負荷	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	急性、慢性、発がん(G1)	急性、慢性、発がん(G1)	急性、慢性
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水		定期測定	定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止	・オゾン処理・塩素処理・取水停止
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	7/36	0/36	0/42
	浄水	0/48	0/48	0/56
	給水栓水		0/378	0/126
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		10	11	12
項目名		硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	フッ素及びその化合物	ホウ素及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		10	0.8	1.0
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (肥料)	「PRTR」 工場排水・下水(添加物)・ 自然負荷	「PRTR」 工場排水・自然負荷・海水 遡上
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	急性(メトヘモグロビン血症)	慢性(斑状歯)、発がんなし (G3)	慢性
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源分析 トレンド分析	定期測定・負荷源分析 トレンド分析	定期測定・負荷源分析 トレンド分析
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・取水停止	・凝集沈殿処理・取水停止	・取水停止
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	77/108	74/84	0/42
	浄水	124/144	68/112	0/48
	給水栓水	546/588	60/84	
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討		実施	実施	
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		13	14	15
項目名		四塩化炭素	1,4-ジオキサン	1,1-ジクロロエチレン
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.002	0.05	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水・下水	「PRTR」工場排水・下水
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	慢性、発がん(G2B)	発がん(G2B)	急性、慢性
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源特定・連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止	・オゾン処理・取水停止	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/84	0/18	0/90
	浄水	0/120	0/16	0/120
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		16	17	18
項目名		シス-1,2-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	テトラクロロエチレン
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.04	0.02	0.01
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水	「PRTR」 工場排水・下水	「PRTR」 工場排水・下水
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	急性、慢性	急性、慢性、発がん(G2B)	慢性、発がん(G2A)
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理(エアレーション 効果)・GAC処理・取水停止	・オゾン処理(エアレーション 効果)・GAC処理・取水停止	・オゾン処理(エアレーション 効果)・GAC処理・取水停止
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	0/90	0/90	0/90
	浄水	0/120	0/120	0/120
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		19	20	21
項目名		トリクロロエチレン	ベンゼン	クロロ酢酸
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.03	0.01	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水	「PRTR」工場排水・下水・水面利用	「PRTR」工場排水
	浄水場			塩素処理で副生
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	慢性、発がん(G2A)	急性、慢性、発がん(G1)	急性、慢性
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/90	0/90	
	浄水	0/120	0/120	0/24
	給水栓水			0/126
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		22	23	24
項目名		クロロホルム	ジクロロ酢酸	ジプロモクロロメタン
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.06	0.04	0.1
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水	「 - 」	「 - 」
	浄水場	塩素処理で副生	塩素処理で副生	塩素処理で副生
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	慢性、発がん(G2B)	発がん(G2B)	発がんなし(G3)
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・トレンド分析 総トリハロメタン生成能の挙動		総トリハロメタン生成能の挙動
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源	・水源水質保全策		
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/72	0/72	0/72
	浄水	0/120	0/72	0/120
	給水栓水	12/378	1/210	10/378
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討		実施	実施	実施
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		25	26	27
項目名		臭素酸	総トリハロメタン	トリクロロ酢酸
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.01	0.1	0.2
発生源	水源 ¹⁾	「-」 下水(オゾン処理)	「-」	「-」
	浄水場	オゾン処理で副生 次亜塩素酸中の不純物	塩素処理で副生	塩素処理で副生
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	急性、慢性、発がん(G2B)	「クロロホルム」、「ジブロモ クロロメタン」、「プロモジクロ ロメタン」、「プロモホルム」 の項参照	発がんなし(G3)
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・トレンド分析	総トリハロメタン生成能の 挙動	
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源			
	浄水場	・オゾン注入率の適正化・次 亜塩素品質確認・オゾン処 理におけるpH調整	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14~16年度)	原水	0/36	0/72	
	浄水	48/48	15/120	0/72
	給水栓水	252/252	188/378	0/120
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討		実施 「浄水場水質管理計画」で 対応を検討 (参考資料3.2)	実施	
「水質管理計画」における 対応		「浄水場水質管理計画」で の測定頻度見直し 1/月 1/週(5~10月)、1/ 月(4月、11~3月)	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		28	29	30
項目名		プロモジクロロメタン	プロモホルム	ホルムアルデヒド
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.03	0.09	0.08
発生源	水源 ¹⁾	「-」	「PRTR」	「PRTR」 工場排水・下水
	浄水場	塩素処理で副生	塩素処理で副生	オゾン処理で副生
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	発がん(G2B)	急性、慢性、発がんなし(G3)	急性、慢性
	快適性・利水障害			
監視	水源	総トリハロメタン生成能の挙動	総トリハロメタン生成能の挙動	
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源			・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/72	0/72	
	浄水	25/120	0/120	0/72
	給水栓水	239/378	0/378	0/210
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討		実施		
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		31	32	33
項目名		亜鉛及びその化合物	アルミニウム及びその化合物	鉄及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		1.0	0.2	0.3
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水	「-」自然由来・工場排水・下水	「-」工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ
	浄水場		凝集剤・凝集不良	返送水
	配給水			給・配水管事故
影響	健康影響 ²⁾			
	快適性・利水障害	基準：味覚・色の観点から	基準：着色の観点から	基準：味覚・着色防止の観点から
監視	水源	定期測定・負荷源分析 トレンド分析		定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理	・凝集剤注入率の適正化・凝集沈殿処理のpH調整	・凝集沈殿処理・オゾン処理・砂ろ過処理・塩素処理
	配給水			・配水管の維持管理
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/36	68/72	82/84
	浄水	0/48	0/456	0/112
	給水栓水	0/378	4/378	0/630
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討			実施	
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」：環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」：PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1)：人に対して発がん性がある
発がん(G2A)：人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B)：人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3)：人に対する発がん性については分類できない

出展：IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		34	35	36
項目名		銅及びその化合物	ナトリウム及びその化合物	マンガン及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		1.0	200	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水	「-」工場排水・下水・自然負荷・海水遡上	「PRTR」工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ
	浄水場		アルカリ剤	返送水・凝集不良
	配給水			給・配水管
影響	健康影響 ²⁾	急性、慢性		急性、慢性
	快適性・利水障害	基準：着色防止の観点から	基準：味覚の観点から	基準：黒水障害防止の観点から
監視	水源	定期測定・負荷源分析 トレンド分析	定期測定・トレンド分析	定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場			・凝集沈殿処理・オゾン処理・砂ろ過処理・塩素処理
	配給水			・配水管の維持管理
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/36	1/84	2343/2343
	浄水	0/48	31/112	4/608
	給水栓水	0/376	218/630	6/378
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				実施
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」：環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」：PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1)：人に対して発がん性がある
発がん(G2A)：人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B)：人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3)：人に対する発がん性については分類できない

出展：IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		37	38	39
項目名		塩化物イオン	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	蒸発残留物
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		200	300	500
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・自然負荷・ 海水遡上	「-」 工場排水・下水・自然負荷・ 海水遡上	「-」 自然由来・工場排水・下水・ 降雨時底泥巻き上げ
	浄水場		アルカリ剤	
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾			
	快適性・ 利水障害	基準:味覚の観点から	基準:石鹼の泡立ち等への 影響防止の観点から	基準:味覚の観点から
監視	水源	定期測定・トレンド分析		
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定		
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場			・凝集沈殿処理・砂ろ過処 理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14~16年度)	原水	2/108	72/72	72/72
	浄水	6/144	112/112	112/112
	給水栓水	11/756	504/504	504/504
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		40	41	42
項目名		陰イオン界面活性剤	ジェオスミン	2-メチルイソボルネオ-ル
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.2	0.00001	0.00001
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・生活排水	「-」 自然由来	「-」 自然由来
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾			
	快適性・ 利水障害	基準: 発泡防止の観点から	基準: かび臭原因物質	基準: かび臭原因物質
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・随時監視 連絡通報体制の整備	定期測定・随時監視 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	随時測定	随時測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	20/84	22/36	15/36
	浄水	0/112	0/48	0/48
	給水栓水		0/24	0/24
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		43	44	45
項目名		非イオン界面活性剤	フェノール類	有機物(全有機炭素(TOC)の量)
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		0.02	0.005	5
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・生活排水	「PRTR」 工場排水	「-」 自然由来・工場排水・下水・ 降雨時底泥巻き上げ
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾		急性、発がんなし(G3)	
	快適性・ 利水障害	基準：発泡防止の観点から	基準：臭味発生防止の観点 から	
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・凝集沈殿処理・オゾン処 理・砂ろ過処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/12	0/84	2200/2200
	浄水	0/16	0/112	2910/2932
	給水栓水			500/504
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				実施
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」：環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」：PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1)：人に対して発がん性がある
発がん(G2A)：人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B)：人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3)：人に対する発がん性については分類できない

出展：IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	1
中分類		46	47	48
項目名		pH値	味	臭気
分類		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・目標値(mg/L)		5.8～8.6	異常でない	異常でない
発生源	水源 ¹⁾	「-」 自然由来(湖沼・日照・滞留)・工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ	「-」 油事故他全てが影響	「-」 油事故他全てが影響
	浄水場	アルカリ剤	塩素処理	塩素処理
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾			
	快適性・利水障害	基準:金属の腐食防止の観点から	基準:味覚	基準:臭気
監視	水源	定期測定・トレンド分析	定期測定	定期測定
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定 水質TMによる常時監視	定期測定	定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・酸またはアルカリ処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水	・配水管の維持管理	・配水管の維持管理	・配水管路の適正管理
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/3288		0/3288
	浄水	0/4384	0/4384	0/4384
	給水栓水	0/756	0/756	0/756
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		1	1	2
中分類		49	50	1
項目名		色度	濁度	アンチモン及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		5度	2度	0.015
発生源	水源 ¹⁾	「-」 全てが影響	「-」 全てが影響	「PRTR」 工場排水・下水
	浄水場	凝集不良	凝集不良	
	配給水	給・配水管事故	給・配水管事故	
影響	健康影響 ²⁾			急性、慢性、発がん(G2B)
	快適性・ 利水障害	浄水処理管理	浄水処理管理	
監視	水源	定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握	定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定 水質TMによる常時監視	定期測定 水質TMによる常時監視	
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理・砂ろ過処 理・オゾン処理・GAC処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処 理	
	配給水	・配水管の維持管理	・配水管の維持管理	
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	3288/3288	3288/3288	0/37
	浄水	4384/4384	0/4384	0/49
	給水栓水	756/756	0/756	
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		2	3	4
項目名		ウラン及びその化合物	ニッケル及びその化合物	亜硝酸性窒素
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.002(暫定)	0.01(暫定)	0.05(暫定)
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水	「PRTR」 工場排水・下水	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (肥料)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾		急性、慢性、発がん(化合物: G1、金属: G2B)	慢性
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 トレンド分析
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理	・凝集沈殿処理	・砂ろ過処理・オゾン処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14~16年度)	原水	2/37	19/37	50/108
	浄水	0/49	10/49	0/144
	給水栓水			0/588
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討			実施	
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		5	6	7
項目名		1,2-ジクロロエタン	トランス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,2-トリクロロエタン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.004	0.04	0.006
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	慢性、発がん(G2B)	急性、慢性	急性、慢性、発がんなし(G3)
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/90	0/90	0/90
	浄水	0/120	0/120	0/120
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		8	9	10
項目名		トルエン	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	亜塩素酸
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.2	0.1	0.6
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・水面利用	「PRTR」工場排水・下水・生活排水	
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	慢性、発がんなし(G3)	慢性、発がんなし(G3)	慢性、発がんなし(G3ただし亜塩素酸ナトリウムとして)
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	
	浄水場	定期測定	定期測定	
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	
	浄水場	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・GAC処理	
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/90	0/24	
	浄水	0/120	0/36	
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		11	12	13
項目名		塩素酸	二酸化塩素	ジクロロアセトニトリル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.6	0.6	0.04(暫定)
発生源	水源 ¹⁾	「 - 」		「 - 」
	浄水場	次亜塩素酸ナトリウム中の不純物		塩素処理で副生
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾		慢性	発がんなし(G3)
	快適性・利水障害			
監視	水源			
	浄水場	定期測定		定期測定
	配給水	定期測定		定期測定
対応	水源			
	浄水場	・次亜塩素酸ナトリウムの品質管理		・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	39/48		0/72
	浄水	187/252		0/210
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討		実施		
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類	2	2	2
中分類	14	15	16
項目名	抱水クロラール	農薬類	残留塩素
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)	0.03(暫定)	1	1
発生源	水源 ¹⁾	「-」	「PRTR」 工場排水・下水・面源(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場	塩素処理で副生	
	配給水		
影響	健康影響 ²⁾	発がんなし(G3)	
	快適性・利水障害		目標値超過で味、臭気に影響
監視	水源		定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定 水質TMによる常時監視
対応	水源		・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水		・配水管の維持管理
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/72	2/15
	浄水	2/210	0/20
	給水栓水		4384/4384
			756/756
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討	実施		
「水質管理計画」における対応	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類	2	2	2	
中分類	17	18	19	
項目名	カルシウム、マグネシウム (硬度)	マンガン及びその化合物	遊離炭酸	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・目標値(mg/L)	10～100	0.01	20	
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・自然負荷・ 海水遡上	「PRTR」 工場排水・下水・降雨時底 泥巻き上げ	「-」 自然由来
	浄水場	アルカリ剤	返送水・凝集不良	
	配給水		給・配水管	
影響	健康影響 ²⁾			
	快適性・ 利水障害	目標値:おいしい水の観点 から	目標値:より質の高い水道 水の供給の観点から	目標値:味覚の観点から
監視	水源		定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握	
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水		定期測定	
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	
	浄水場		・凝集沈殿処理・オゾン処 理・砂ろ過処理・塩素処理	・アルカリ剤添加
	配給水		・配水管の維持管理	
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	72/72	2193/2193	71/72
	浄水	112/112	216/608	95/112
	給水栓水		140/378	337/504
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討		実施 「浄水場水質管理計画」で 対応を検討 (参考資料3.2)		
「水質管理計画」における 対応	変更なし	変更なし	変更なし	

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		20	21	22
項目名		1,1,1-トリクロロエタン	メチル-t-ブチルエーテル	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.3	0.02	3
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水	「PRTR」工場排水・下水・水面利用	「-」自然由来・工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	急性、発がんなし(G3)	発がんなし(G3)	
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・トレンド分析
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理	・凝集沈殿処理・オゾン処理・砂ろ過処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/90	0/18	3288/3288
	浄水	0/120	0/24	4383/4383
	給水栓水			504/504
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				実施
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		23	24	25
項目名		臭気強度 (TON)	蒸発残留物	濁度
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		3	30 ~ 200	1度
発生源	水源 ¹⁾	「-」 油事故他全てが影響	「-」 自然由来・工場排水・下水・ 降雨時底泥巻き上げ	「-」 全てが影響
	浄水場	塩素処理		凝集不良
	配給水			給・配水管事故
影響	健康影響 ²⁾			
	快適性・ 利水障害	目標値:臭気の観点から	目標値:おいしい水の観点 から	目標値:より質の高い水道 水の供給の観点から
監視	水源			定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処 理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処 理
	配給水	・配水管の維持管理		・配水管の維持管理
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14 ~ 16年度)	原水		72/72	3291/3288
	浄水	144/144	112/112	0/4384
	給水栓水			0/756
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類	2	2	2
中分類	26	27	15
項目名	pH値	腐食性(ランゲリア指数)	チウラム
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)	7.5	-1~0	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「-」 自然由来(湖沼・日照・滞留)・工場排水・下水・降雨 時底泥巻き上げ	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場	アルカリ剤	
	配給水		
影響	健康影響 ²⁾		殺菌剤
	快適性・ 利水障害	目標値:より質の高い水道 水の供給の観点から	
監視	水源	定期測定・トレンド分析	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策(農薬使 用量の削減)
	浄水場	・酸またはアルカリ処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理
	配給水	・配水管の維持管理	
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14~16年度)	原水	0/2193	0/45
	浄水	0/4384	0/60
	給水栓水	0/252	
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討			
「水質管理計画」における 対応			
	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		シマジン(CAT)	チオベンカルブ	1,3-ジクロロプロペン(D-D)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.003	0.02	0.002
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤 発がんなし(G3)	除草剤	土壌薫蒸 発がん(2B)
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	1/45	2/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		イソキサチオン	ダイアジノン	フェニトロチオン(MEP)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.008	0.005	0.003
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/45	1/45	1/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		イソプロチオラン(IPT)	クロロタロニル(TPN)	プロピザミド
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.04	0.05	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	殺菌剤	除草剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	1/45	0/45	1/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ジクロルボス(DDVP)	フェノブカルブ(BPMC)	クロルニトロフェン(CNP):失効農薬
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.008	0.03	0.0001
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺虫剤	除草剤
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14~16年度)	原水	1/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		CNP-アミノ体	イプロベンホス(IPB)	E P N
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		-	0.008	0.006
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤反応物	殺菌剤	殺虫剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場		・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15	0/45	0/45
	浄水	0/20	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ベンタゾン	カルボフラン(カルボスルファン代謝物)	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.2	0.005	0.03
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	除草剤 発がん(2B)
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		トリクロピル	アセフェート	イソフェンホス
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.006	0.08	0.001
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「 - 」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「 - 」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	殺虫剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理・塩素処理	・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		クロルピリホス	トリクロルホン(DEP)	ピリダフェンチオン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.03	0.03	0.002
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理・塩素処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		イプロジオン	エトリジアゾール(エクロメゾール)	オキシ銅
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.3	0.004	0.04
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	殺菌剤	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理	
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		キャプタン	クロロネブ	トリクロホスメチル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.3	0.05	0.2
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤 発がんなし(G3)	殺菌剤	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14~16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		フルトラニル	ペンシクロン	メタラキシル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.2	0.04	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	殺菌剤	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定 回数 (平成 14~16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		メプロニル	アシュラム	ジチオピル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.1	0.2	0.008
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	除草剤	除草剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定 回数 (平成 14~16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		テルブカルブ(MBPMC):失効農薬	ナプロパミド	ピリプチカルブ
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.02	0.03	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤	除草剤
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14~16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ブタミホス	ベンスリド(SAP)	ベンフルラリン(ベスロジン)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.01	0.1	0.08
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤	除草剤
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ペンディメタリン	メコプロップ(MCPP)	メチルダイムロン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.1	0.005	0.03
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「 - 」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「 - 」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤 発がん(2B)	除草剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		アラクロール	カルバリル(NAC)	エディフェンホス
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.01	0.05	0.006
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤 発がん(2B)	殺虫剤 発がんなし(G3)	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15	0/15	0/15
	浄水	0/20	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ピロキロン	フサライド	メフェナセツ
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.04	0.1	0.009
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	殺菌剤	除草剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	3/15	0/15	6/45
	浄水	0/20	0/20	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		プレチラクロール	イソプロカルブ(MIPC)	チオファネートメチル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.04	0.01	0.3
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	1/45	0/15	0/15
	浄水	0/60	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		テニルクロール	メチダチオン(DMTP)	カルプロバミド
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.2	0.004	0.04
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・GAC処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15	0/15	0/15
	浄水	0/20	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		プロモブチド	モリネート	プロシミド
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.04	0.005	0.09
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	1/45	2/45	0/15
	浄水	0/60	0/60	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		アニコホス	アトラジン	ダラボン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.003	0.01	0.08
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤 発がん(2B)	除草剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理	
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14~16年度)	原水	0/15	0/45	0/15
	浄水	0/20	0/60	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ジクロロベンジル(DBN)	ジメトエート	ジクワット
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.01	0.05	0.005
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	除草剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	
	浄水場	定期測定	定期測定	
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・GAC処理・塩素処理	
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15	0/15	
	浄水	0/20	0/20	
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ジウロン	エンドスルファン(ベンゾエピン)	エトフェンプロックス
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.02	0.01	0.08
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	殺虫剤
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成14～16年度)	原水	0/15	0/15	0/15
	浄水	0/20	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		フェンチオン(MPP)	グリホサート	マラソン(マラチオン)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.001	2	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「 - 」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	除草剤	殺虫剤 発がんなし(G3)
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理・塩素処理		・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/45	0/15	0/45
	浄水	0/60	0/20	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		メソミル	ベノミル	ベンフラカルブ
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.03	0.02	0.04
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺菌剤	殺虫剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・GAC処理・塩素処理	・GAC処理・塩素処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15	0/15	0/15
	浄水	0/20	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		シメトリン	ジメピペレート	フェニトエート(PAP)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.03	0.003	0.004
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤	殺虫剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/45	0/15	0/15
	浄水	0/60	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ブプロフェジン	エチルチオメトン	プロベナゾール
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.02	0.004	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺虫剤	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15	0/15	0/15
	浄水	0/20	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		エスプロカルブ	ダイムロン	ピフェノックス
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.01	0.8	0.2
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「 - 」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「 - 」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤	除草剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15	0/15	0/45
	浄水	0/20	0/20	0/60
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ベンスルフロンメチル	トリシクラゾール	ピペロホス
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.4	0.08	0.0009
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺菌剤	除草剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定 回数 (平成 14~16年度)	原水	0/15	0/15	0/15
	浄水	0/20	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ジメタメトリン	アゾキシストロピン	イミノクタジン酢酸塩
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.02	0.5	0.006
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺菌剤	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	
	浄水場	定期測定	定期測定	
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・オゾン処理・GAC処理	
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15	0/15	
	浄水	0/20	0/20	
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		ホセチル	ポリカーバメート	ハロスルフロンメチル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		2	0.03	0.3
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	殺菌剤	除草剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性		定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定		定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場			・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15		0/15
	浄水	0/20		0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展: IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		フラザスルフロン	チオジカルブ	プロピコナゾール
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.03	0.08	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	殺菌剤
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用 量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・GAC処理・塩素処理	・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値 の10分の1以上となった回数) / 総測定 回数 (平成 14~16年度)	原水	0/15	0/15	0/15
	浄水	0/20	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		シデュロン	ピリプロキシフェン	トリフルラリン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・目標値(mg/L)		0.3	0.2	0.06
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	除草剤 発がんなし(G3)
	快適性・ 利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使 用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使 用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使 用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩 素処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15	0/15	0/15
	浄水	0/20	0/20	0/20
	給水栓水			
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)

大分類	2	
中分類	15	
項目名	カフェンストロール	
分類	水質管理目標設定項目	
基準値・目標値(mg/L)	0.008	
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷 (農地・ゴルフ場・都市環境 整備)
	浄水場	
	配給水	
影響	健康影響 ²⁾	除草剤
	快適性・ 利水障害	
監視	水源	定期測定・使用実態調査 流出パターンの把握 流下過程での分解性
	浄水場	定期測定
	配給水	
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使 用量の削減)
	浄水場	・GAC処理
	配給水	
(測定値が基 準値、目標値 の10分の1以 上となった回 数) / 総測定 回数 (平成 14～16年度)	原水	0/15
	浄水	0/20
	給水栓水	
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討		
「水質管理計画」における 対応		変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質
「-」:PRTR対象外

2)健康影響 発がん(G1):人に対して発がん性がある
発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
発がん(G2B):人に対して発がん性があるかもしれない
発がんなし(G3):人に対する発がん性については分類できない

出展:IARC(国際がん研究機関)
による発がん性評価
(2004年7月現在)